

第42回 住まいのリフォームコンクール 優秀賞

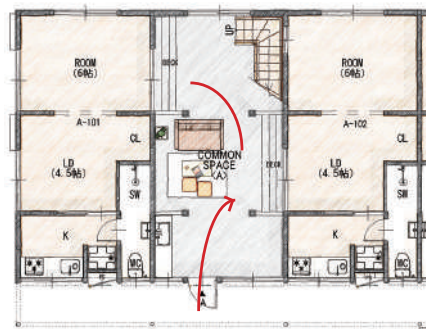
リフォーム前後の写真

タイトル	はちふく文化GAMO-4 文化住宅再生(文化的な暮らしとは)	所有・ 建方形式	持家共同建
設計	(株)福永工務店一級建築士事務所	施工	(株)福永工務店一級建築士事務所
		構造	在来木造

講評	12住戸で構成される2階建て文化住宅を現代の都市住宅として再生した作品である。中間の4戸を解体して設けられた2つの共用土間空間に吹き抜けと透明屋根で光を導き、屋内の縁側としている。ここで生まれる関係性が住人同士の適度な距離感を醸成している。
----	--



▲帰宅時の様子



▲帰宅動線



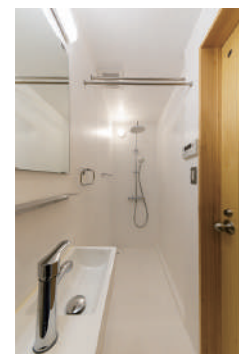
▲光が降り注ぐ共有土間



▲イベント時及び食事会の様子



▲各住戸内



▲BEFORE

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など	
戦後の高度経済成長期に生まれた、住戸に専用の水まわりを備えた“文化住宅”は、当時の文化的な暮らしを象徴する存在でした。しかし今では現代の生活にそぐわず、取り壊されるケースも増えています。本プロジェクトでは、文化住宅の歴史や空間性を継承しつつ、現代に合った住まいへと再生を図りました。都会で文化的に暮らすには“余白”が必要になると考えました。都市では効率性が優先され、関係性は希薄になりがちですが、シェアハ	ウスのような密な関係もまた、万人向けではありません。そこで12住戸のうち4住戸を解体し、住民が必ず通る動線に「共有土間」と呼ぶ共用空間を設置。吹き抜けと透明屋根で光を奥まで導き、暗さを解消しました。この土間は、挨拶やお茶、イベントなどを通じた、気負わない関係性を育む“屋内の縁側”となっています。密でも希薄でもない距離感が「ただいま」「おかえり」を生む、新しい文化住宅の風景をかたちづくっています。

審査基準のうち右記に該当する場合は ☒ a.ストックの有効活用 / ☐ b.深刻化する技能者不足への対応 / ☐ c.既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw 値、ls 値
耐震性能、耐久性、温熱性能、防音・遮音性能、防犯性能、光環境、居住性	・顔認証・スマホ対応のオートロック・遮音マットと天井補強で防音対策 ・無垢フローリングで快適な足ざわり・動線上の共有土間で自然な交流 ・吹き抜け+透明屋根で採光改善・多用途な共用空間で地域と接点	リフォーム前 0.1 リフォーム後 0.7

データ	
所在地	大阪府大阪市
新築竣工年	1966 年
築後年数	59 年
施工期間	220 日間
該当工事床面積	321 m ² / 総工事床面積 321 m ²
該当部分工事費	4600万円 / 総工事費 4600万円
居住者構成	65 歳以上： 人 / 40～64 歳： 1 人 / 15～39 歳： 10 人 / 14 歳以下： 1 人 / ペット： 人

リフォーム前の平面図	リフォーム後の平面図
2F 1F	2F 1F
リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■クローズ/ ■マンション共用部分/ □その他	